

ファイナンシャルプランナーより、
お役立ち情報をお知らせいたします

FP 通信

2024年12月 第50号

発行

ベイヒルズ 税理士 法人

〒221-0052

横浜市神奈川区栄町1-1 KDX横浜ビル6階

TEL:045-450-6701 FAX:045-450-6706

HP: <https://www.bayhills.co.jp>

新 NISA の 2024 年振り返りと ゴールベースアプローチで考える資産形成

2024 年は改正新 NISA 制度がスタートし、多くの方が資産形成の新たな一步を踏み出した年でした。この 1 年を振り返りながら、将来に向けたゴールベースアプローチ(目標志向型の資産運用)の重要性を解説します。

2024 年の新 NISA を振り返る

改正された新 NISA では、つみたて投資枠と成長投資枠が統合され、年間最大 360 万円の非課税投資枠と非課税期間の無期限化が導入されました。これにより、投資初心者から経験者まで幅広い層に利用が広がりました。主な動向としては下記のとおりです。

(1) 若年層の投資参入

初心者がつみたて投資枠を活用し、インデックスファンドなどで資産形成を始める動きが顕著でした。

(2) 長期的視点の浸透

非課税期間の無期限化により、長期的な資産形成を重視する運用が増加しました。

(3) リスクの再認識

成長投資枠の利用が進む一方で、リスク許容度を超えた運用で市場の動きに振り回されるケースも見られました。

ゴールベースアプローチの活用

ゴールベースアプローチとは、人生の目標を基に投資戦略を立てる方法です。この考え方を取り入れると、新 NISA の特徴を最大限に活かせます。

(1) ゴールを設定する

まずは、自分が達成したい目標を明確にし、目標ごとに必要な金額と期間を設定することが重要です。

【例】

- 10 年後のマイホーム購入
- 子どもの教育資金準備
- 老後資金の確保



(2) 投資戦略を設計する

各ゴールに応じリスクとリターンを考慮して投資しましょう。

① 短期目標(～5 年) :

債券型や安定型ファンドを選択

② 中期目標(5～15 年) :

株式と債券のバランス型ファンドを活用

③ 長期目標(15 年以上) :

インデックスファンドや成長投資枠を活用

(3) 定期的に見直す

目標の進捗やライフステージの変化に応じて、ポートフォリオを調整します。

2025 年に向けたポイント

2025 年以降、新 NISA をさらに効果的に使うためには以下を意識しましょう。

(1) 非課税枠のフル活用

年間 360 万円の非課税枠を使い切ることで、効率的に資産を増やせます。少額からでも早く始めることが大切です。

(2) リスク許容度を見極める

市場の変動に一喜一憂せず、ゴール達成に必要なリスクを取りましょう。



(3) 学び続ける姿勢を持つ

投資環境は常に変化しています。正しい情報を取り入れ、金融リテラシーを高める努力を続けましょう。

ゴールを明確に、未来を形作る

新 NISA は資産形成の強力なツールですが、目的が曖昧なままでは効果を十分に発揮できません。ゴールベースアプローチを取り入れることで、「何のための投資か」を明確にし、効率よく未来を形作ることができます。

2024 年の経験を糧に、2025 年も計画的な資産運用を続けていきましょう。資産形成は長い旅です。一歩ずつ着実に進めることで、目標達成の道が開けていきます。

現在と将来のお金のことを考えてみませんか。

気になることがございましたら、お気軽にファイナンシャルプランナーまでお問い合わせください。

連絡先:ベイヒルズ税理士法人 FP 課 児玉 045-450-6701

